とぅもろう便り

No.8
2023年7月発行
特定非営利活動法人　とぅもろう

グループホームとぅもろうは８年目を迎えました

　グループホームとぅもろうは、８年目を迎えました。
　重度障がいの方は、学校を卒業した後、親元などから通所施設に通われる、又は入所されるなどの生活がほとんどであると思います。
　とぅもろうでは、看護師を配置し、重度障がいの方、医療的ケアを必要とされる方も安心して過ごされています。そして、入居者の皆様は、親元から離れてホームから通所をされるという、新たな「自立」という道を歩んでいます。
　練馬区において、重度障がいの方々の自立の道を切り開いた先駆者として、今後もなお一層の安心、安全、寄り添う支援を心がけてまいります。
　新型コロナウィルスも５類感染症へ移行となり、少しずつ日常に戻しつつも注意を怠らず、入居者の皆さんの笑顔のために、楽しい季節の行事などの開催をいたします。
　また、ボランティア講習会や地域の皆様についても「とぅもろう祭」などを通じて交流の場を設けていこうと企画しております。
　最後になりましたが、当法人は補助金や助成金、寄付金や会費等のご協力が無ければ運営が成り立ちません。東京都、練馬区、並びにご協力いただきました皆様に厚く御礼申し上げます。
　今後ともご支援、ご協力をお願い申し上げます。

理事長　浅石 道夫

防災訓練を年２回実施しています

年２回、３月と９月に消防署に日時を連絡して避難訓練を実施しています。

実施内容→火災発生や地震発生による職員の役割や行動、通報、救急セットの持ち出し確認、入居者様の体調管理の確認、安全に慌てずスピーディーに誘導などの避難訓練を行います。

実施→地震により火災が発生、入居者様の安全と周りの状況を確認し一人が消防署に通報訓練（住所人数状況など）、障害物がないか火が迫っていないかを確認して慌てずスムーズに 1F の駐車場へ誘導、２階入居者様は職員が背負うなどして階段で 1F へ車椅子は後から降ろし、全員が安全に誘導できたか点呼を取り安否を確認して、避難時間を測定しました。エレベーター使用不可で行い、４分 30 秒で全員避難できました。

訓練を終えた後に発電機の点検と発電機の使い方講習も行いました。

支援員　菊池　正明

楽しい行事を開催しました

夏まつり

水遊びにスイカ割り！

とぅもろう祭

ゲームで景品をゲット！

クリスマス会

サンタさん、登場！

新年会

獅子舞と
おかめさん
ちょっと
怖いな～

節分

鬼の
ラスボス
登場！！

とぅもろうの日常

新型コロナウイルス感染症も少し落ち着きを見せる中、５類に移行されたことを受け、グループホームとぅもろう内でも、少しずつですが段階的な緩和を行い始めました。

食堂での食事再開、入居者様同士の関わり合いなど、コロナ禍では食事も自室で行い、入居者様同士での関わりが少なくなっていた事もあり、ストレスを感じることがあったと思います。

今では入居者様、職員ともにコミュニケーションが増え、笑顔や笑い声があふれ、とてもにぎやかな毎日を過ごされているように感じます。

また、土日の日中支援を、６月より月に一度程度ではありますが再開し、入居者様との余暇活動にも以前より活発に動くことが出来るようになりました。近くの公園までお散歩に行きみんなでほのぼのした暖かい空気を感じ楽しみました！

私は思わずいい景色だな、と思いパシャっと皆様の集合写真を撮ってしまうほどでした（笑）
今後につきましても夏祭り、ハロウィン、とぅもろう祭などイベントが盛りだくさんとなっていますので、引き続き感染対策をしながら皆様の大切な日常守って参りたいと思います！

支援員　吉田　健

新しいお仲間のご紹介

この４月からとぅもろうさんにお世話になっています、K.A１８歳（男）です。

てんかんで毎日の様に小さい発作が何回かあり、体調や天候によって大きい発作になる事もあり、自分からは簡単なジェスチャーでしか伝えられないので初めて親元を離れての生活に不安がいっぱいありましたが

職員方の温かい支援で３ヶ月経った今はもうすっかり慣れて安心しています。今や逆に家よりもとぅもろうの方が楽しいみたいで送迎時あっさりとバイバイしてくるので、ちょっと寂しい気持ちにもなります。

武蔵村山市から練馬区、市を跨いての利用で受け入れして頂いた事に感謝、何よりも本人が楽しく過ごせている事にも感謝です。１８歳だけど全てが幼いのでいっぱい可愛がってあげて下さい。どうぞ宜しくお願い致します。

K・A 様お母様

ありがとうございました

azbil みつばち倶楽部様からの支援金で防犯カメラを購入させて頂きました。

近づくとライトも付き、不審者対策のために設置をいたしました。

入居者様、職員共にとても安心して過ごしております。

ありがとうございました。

とぅもろうでの訪問診療が始まって

とぅもろうで男女共に訪問診療が始まってから、まずは安心感が得られました。
なぜなら、入居者さんに何かあってもすぐに対応してもらえる、相談できる、処方欲しいとなった時にすぐお願いできる！という事が現実となり、今までは、まずは”お母さんに動いてもらう”という考え方から、施設としてどう対応するという考え方にも変わってきているのかなと思います。
もちろん、保護者の方には相談しますが、保護者へのご負担は少し軽減できたのかなと感じております。
実際、体調不良、他科受診への相談、紹介状の作成など訪問診療だからこそスムーズにできた場面は多々あり本当に感謝です。
併せて、訪問薬剤師も導入となり管理や相談もよりしやすくなりました。無理難題も快く受けてくださっています…汗
とぅもろうの入居者様を守っていく、地域でとぅもろうを支えていく、地域社会と共に生きていくと感じることが多くなりました。
今後の課題として、看護の課題とは離れてしまうかもしれませんが、とぅもろうってどんな施設？！医ケア対応のグループホーム？？って何？？
医療、福祉で働く私たちには周知が薄い為、働き手もたくさんいる中、知らない方々が大多数、少しでも知ってもらい、興味を持ってきてくださる方がいたら良いなと思います。
働いてみたい、興味がある！など、とぅもろうを知ってもらい、来ていただいた方の知識や経験など、とぅもろうで生かして頂けたら、入居者さんへ還元できる事になるのかなと思います。
コツコツと、とぅもろうの宣伝ができたらと思っております。　　看護師　大倉直美

支援員　自己紹介

こんにちは。初めまして。須藤朋貴と申します。
神奈川県出身で、自然に囲まれて育ち高校時代は園芸部に所属し部長を務めておりました。
私が、介護職に携わりたいと思ったきっかけは学生時代に実技経験を積むために始めた老人ホームでのアルバイトです。
始めたばかりの頃は慣れない介護に不安や戸惑いも感じましたが、日々入居者様と関わっていく中で一人一人に合わせた援助方法や適したコミュニケーション方法など個人を尊重した支援を学び実践することでやりがいを感じたとともに、より良い日々を過ごして頂けるような支援をする介護士になりたいと思ったからです。
今年度、実務者研修の資格を取得させて頂きましたが、今まで学んできた事を生かしつつ現在の技術や知識に満足せず、日々精進してまいります。今後もどうぞよろしくお願いいたします。　　須藤　朋貴

【編集後記】とぅもろうにも活気が戻ってきました。楽しい行事での入居者様のあふれる笑顔をお届けいたします。
とぅもろうならではの、和やかな雰囲気をお感じいただけたら幸いです。　　編集担当

～賛助会員募集・ご寄付のお願い～

私たちの活動は皆様のお力添えによって支えられています。

医療的ケアに対応するため、夜間も含めての看護師体制を維持してゆくには、私たちの力だけでは不十分です。
当法人の目的にご賛同していただき、活動を支援してくださる賛助会員及びご寄付を募集しております。
是非温かいご支援をお願い申し上げます。
◆お申込み：ホームページから書式をダウンロードし、メールまたはFAXにて事務局までお送りください。
賛助会員　入会金3,000円　　年会費2,000円

職員大募集！

私たちと一緒に入居者様の笑顔を支え、共に楽しさと喜びを分かち合う仲間を募集しています。

NPO法人とぅもろう ホームページ

発行：特定非営利活動法人とぅもろう
〒176-0021
東京都練馬区貫井３-４５-１２
TEL：03-5936-6100　FAX：03-5936-6101
http://www.npo-tomorrow.com/